



# 春耕へ農機うずらぎ

帯広

【帯広】帯広市の農業機

械製造・販売会社、東洋農

機の敷地に、春耕に向けて

自社製品の農機が並んでい

る。両腕を広げた朱色の口

ボットのような1000台が

残雪上にひしめき合い、近

づく出番を待ちわびる。

並んでいるのは、冬の間

に硬くなった畑の土を軟ら

かくして水はけを良くする

耕運機の種類。トラクター

で、けん引して使う。十勝

管内の主要作物ジャガイモ

や豆類、ビートなどの畑で

は春先の作業で欠かせな

い。

作業は雪解けとともに始

まるため、今月末からの農

家への出荷に向け、今が最

も在庫が多いという。山田

▶ 東洋農機の敷地内に並ぶ朱色の耕運機。「もうすぐ出番だ」と肩をいからせ、気合を入れているかのような帯広市西22北1（富田茂樹撮影）

政功社長は「準備万端。昨年は猛暑の被害もあったので、『今年こそ良い年に』と願う気持ちは農家と一緒に」と話している。